



浅間神社だより

第1号

令和7年6月吉日

畑沢浅間神社広報班

【ごあいさつ】

畑沢浅間神社は、祭礼の人出が4市屈指ということ。皆様より愛されている証であり、衷心より感謝申し上げます。

さて、このたび新たに広報紙を刊行致すこととなりました。更なるご理解を頂くきっかけとなりますよう、ご愛読願えれば幸いです。

(氏子総代 小泉 武)

【たより】

① 元旦祭及び3日までの初詣期間は、甘酒、奉納による御神酒・みかんの振舞いもあり大変賑わいました。



② 2月より各地区代表の氏子役員のほぼ半数が入れ替わりとなり、新体制での1年が始まりました。

③ 参拝者に危険のないよう、立ち枯れの樹木を伐採しました。また、本殿・社務所にかかる枝の伐採を行いました。富士山がこれまで以上にきれいに望めるようになっていきます。



④ 古くなり漏電の危険のある、参道の街灯と電線を撤去しました。電信柱や電線を必要としないソーラー蓄電方式に変更しました。

⑤ 今年度の例大祭の日程が、7月19、20日に決定しました。

⑥ 昨年7月に祭礼実行委員会と共同でホームページを開設しました。より詳しい情報が載っています。ぜひご覧ください！



Q&Aコーナー

Q 浅間神社の「浅間」って何ですか？

A 日本は八百万（やおよろず）の神の国であり色々な神様がいます。その中で浅間神社は富士山を信仰の対象とする神社で、全国に約千三百社あります。当然ながらその多くは富士山の見える所にあります。富士山は美しいだけでなく、時折噴火する恐れの対象でもあります。そのため、火中出産したという木花之佐久夜毘売命（このはなさくやひめ）が主祭神となっています。

Q 畑沢浅間神社はいつからあるの？

A 詳しくは分かっていません。伝承では日本武尊（やまとたけるのみこと）が東国に来た折、浜ヶ谷の山嶺に参籠し、鎮撫祈願の霊殿を奉祀し歎請したのがこの社の始まりと言われています。

Q 源頼朝と関係があると聞きましたが？

A 1180年に頼朝が北上して下総に向かう途中、この社に武運長久を祈願したと伝えられ、その後、平家を破り鎌倉に開幕した際、お礼の気持ちから秘仏木造観世音菩薩立像を、1198年に寄進したと伝わっています。